

明治八年  
大阪錦画新聞  
第一号

東京の分岐常吉といふの谷中の方  
よりあき車曳で黒門終り一来る物下  
女の泣聲は追剣と思察せぬに賊の振  
で客符と云ふことトハ自浪の刺しませる  
衣類と脊にひ来る所と常吉は且那  
上供と云われ根津逆やまゝ濊法界  
價定て定て母我と云ふおりの細  
別と云ふ直人カで巡りまの早  
走り罪のなちまも巡査の由所の門を  
賊と大聲す官棒めたる走り出る  
賊の驚きにはんぞとよるまをさるる  
あゝあゝと云ふをさるるれと云ふら



略誌  
馬圖  
好吉  
海

明治八年 大阪錦画新聞1号 文庫10-8064-1  
早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library